

授精課通信



～どんな一年にしますか??～

あけましておめでとうございます。みなさんは今年の目標を立てたりしましたか？ちなみに、私は目標だけは沢山立てています！

◎目標の共有ってしていますか？

農場の目標を従業員さんや農場に深く関わる人達と共有している人はどれくらいいますか？

繁殖検診等を行っている方は担当獣医と目標を共有しているかもしれません。当社の授精業務のように担当農場やメインの授精師が決まっている方式だと、「私も一緒に共有したいな」と授精業務をしていてよく思います。

◎授精師との目標共有って？

農家さんが、精液や移植・F1等の指定をしてくれている場合はいいのですが、私たち授精師に繁殖を任せてくれている農場だと特に大切になってきます。

*授精業務は、その農場の経営にとっても影響を与える仕事だと思います。それを任せられるということは、とても責任重大で、授精師の考え次第でその農場の利益も大きく変わってきます。だからこそ、農場が『今年&今後』**どういう方向に向かって行くのか**を知らないと授精の方向性で同じ方向を向くことができないからです。

例えば、

○毎月・年間の必要なメス子牛の数は何頭くらいかな？

→どれくらいメス精液を授精する必要があるのか

○和牛は月何頭くらいまで生まれて大丈夫かな？

→何頭くらい和牛受精卵移植をしようか

○どういう牛群にしていきたいのかな？

→ゲノム検査やホル受精卵移植・OPUの必要性は

↑これは、一部で他にもその農場によっていろいろです。

なので、どんな些細な目標でも、どんな大きな目標でも構いませんので、ぜひ教えていただければと思います。もしくは、授精師と一緒に今年の繁殖の目標を立ててみるのも面白いかもしれません。

◎従業員さんとは共有していますか？

従業員さんとの目標共有も大切になってくるのではないかなと思います。例えば、「今年は分娩の事故を減らしたい！」や「乳房炎をどのくらいにまで抑えたい！」という目標があると、その部分に目も行くようになるし、何より農場主と一緒に取り組んでいるという一体感も生まれ、モチベーションUP！にもつながるのではないかと思います。

◎目標の共有と問題の共有

目標の共有と同じくらい問題の共有も大切になってきます。目標の共有を語るのに問題の共有も欠かせません。それを書き始めるとまた長くなり、1枚に収まらないので、次回書きたいと思います。

昨年は、シャロレーの担当になったり、農場で新しい取り組みにチャレンジしてみたりと、それなりに充実した一年でした。

今年は元旦にシャロレーのオスが生まれ(最近オスしか生まれれないのが悩みです…)新たな一年がスタートしました。今年は、先輩授精師と同じことばかりをしても成長しないので、授精師としての何か新しい在り方を見つけていければと思って頑張りたいと思います。(もちろん、太田さんのいい所を盗みつつ…)

また今年も授精課一同一丸となって、農場に貢献できるように頑張っていきますので、よろしくお願いたします。



Nakanishi

授精課通信

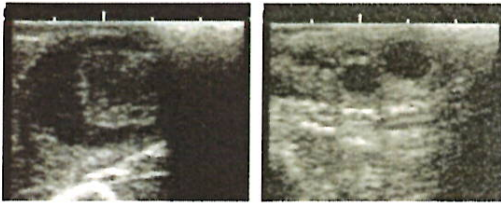
あけましておめでとうございます、授精師の相内です。今月は、初めて自分で組んだプログラムのことについて書こうと思います。

プログラムを組むことになったきっかけは、検診で卵胞ありと診断されたのに発情兆候がないから見てほしいと言われたことがきっかけです。

その牛の卵巣を見てみると、左側の卵巣に下の画像のような黄体がありました。



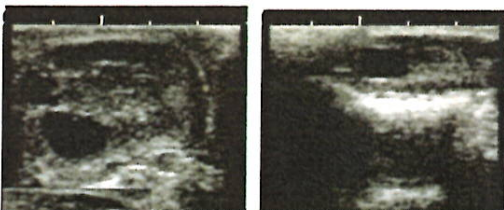
検診の4日後に見たので、検診の次の日に排卵したとすれば、排卵からおそらく3日目の黄体になります。



左、黄体
右、小卵胞

発情周期があいまいだったためこの日からオブシンクを開始しました。

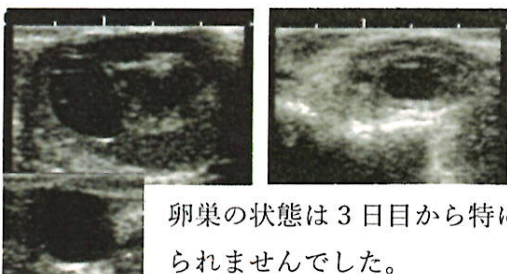
主席卵胞はありませんでしたが、この日を0日として1回目のGnRHを投与。



3日目

左、黄体と卵胞 右、小卵胞

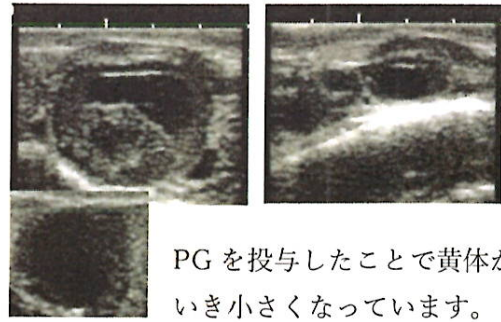
左の卵巣の裏に卵胞ができていました。



7日目

卵巣の状態は3日目から特に変化は見られませんでした。

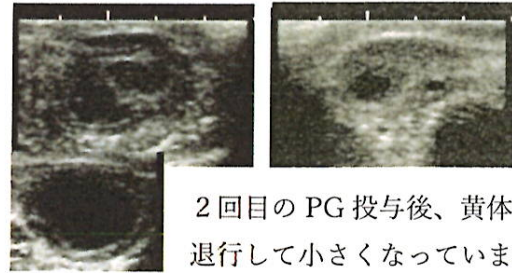
最初のGnRH投与から7日目に1回目のPGを投与しました。



8日目

PGを投与したことで黄体が退行していき小さくなっています。

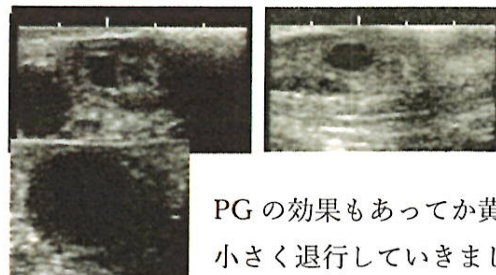
黄体を完全に退行させるために2回目のPGを投与



9日目

2回目のPG投与後、黄体がさらに退行して小さくなっています。

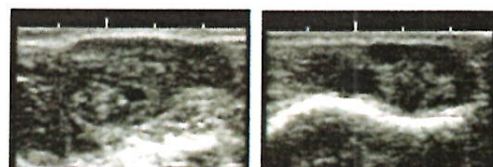
そして、排卵を誘発するために2回目のGnRHを投与しました。



10日目

2回目の

PGの効果もあってか黄体がかなり小さく退行していきました。そして、GnRHの投与から約12~16時間後に授精をしました。



11日目

翌日の排卵確認で、無事に排卵していることを確認できました。

今回のように、プログラムを組んでから授精までの卵巣の変化を観察することができ、とても勉強になりました。次回は、この牛の排卵後と今回行ったオブシンクについて書こうと思います。

相内 稜蘭